2025（令和 7）年　山行記録

湖北山の会

第 225 回　６月８日（日）・９日（月）　飯盛山 1643m、清里高原

今年から「年 2 回の 1 泊山行」となったその第 1 回目は、梅雨入りを睨みながらの微妙な山行となりました。目指すは八ヶ岳東麓の飯盛山（めしもりやま・1643m）。

９時過ぎに平沢峠登山口。すでに多くのハイカーの車があり、人気の高さが伺えます。

９時 20 分に登山開始。心配された天気も上々で、笹原の緩やかな登山道を、春セミや山蛙の鳴き声に背を押されながら登ります。10 時 30 分に頂上。富士をはじめ甲斐駒、瑞牆山の山容も。お椀を伏せたような頂上はやや狭いので、手前の大盛山（1650m）に移動しての昼ごはんとなりました。

11 時 20 分に清里駅近くの平沢集落方面に下山開始。12 時半にバスへ。さらにバスは清里を代表する清泉寮へ。かつてアンノン族のメッカとされた地で定番のソフトクリームを頬張りました。900 円也。「これまでで一番高かった❗でもさすが美味かった‼」の声も漏れます。２時早々に小金井市立清里山荘へ投宿となりました。

翌日は心配された雨もなく、青空さえも。甘利山の予定を変更して、「清泉寮周辺の自然歩道」を周回しました。９時 15 分に歩きはじめ、牧草地を抜け川俣川渓谷に下ります。奇岩や渓谷美、滝など見つつ、小海線の鉄橋下から登り返し、12 時前に迎えに来たバスへ。

２ 時間半、高原と渓谷を存分に堪能しました。「すごく良かった」の声が何人もから。

バスはさらに走り、道の駅で、宿で作ってもらった弁当での昼食を済ませ、日帰り温泉「湯めみの丘」へ。かけ流しの温泉で体内にビール🍺をかけ流しました。

参加者は 23 人。男女比は 11 対 12。接戦にこそ持ち込みましたが、男性陣、なかなか勝てませんね。

ということで、２日間の変化に富んだ山行を終え、バスは６時に我らが我孫子に。到着を待ちかねたかのように、梅雨入りなのか霧雨が降りはじめました。